

1 学校教育目標	2 本年度の重点目標
「心晴れ晴れ たくましく 学び伸びゆく 晴田っ子」の育成 ～地域に根ざし、世界につながれ、晴田っ子！～	①人権が尊重される学習活動を創造する。 ②人権が尊重される集団づくりを図る。 ③自己肯定感を高める取り組みを充実させる。

重点目標を具体的に評価するための項目や指標を盛り込む

3 目標・評価						
① 人権が尊重される学習活動を創造する。						
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌 (部)	担当者
学校運営	○教職員の資質向上	外国語科・外国語活動の指導力向上	・外国語・外国語活動で「聞くこと」、「話すこと」の言語活動に主体的に取り組んでいる児童を80%以上とする。	・新学習指導要領を先行実施する。 「1・2年生の外国語活動」10時間 「3・4年生の外国語活動」35時間 「5・6年生の外国語活動」70時間 ・English Week、外国の情報や英語での校内環境整備を図る。	研究推進委員会 ・外国語教育部	西村 山下 進藤 大久保
学校運営	●業務改善・教職員の働き方改革	校務の効率化 職員の意識改革	・年間で時間外勤務を5%削減する。	・毎週火曜日を定時退勤日(18時)とし、緊急時以外は課後に会議を行わない。 ・ICT支援員を活用し、校務用サーバの整理と校務の一層の電子化を進める。 ・休業中に全職員で業務改善策を検討し、可能かことから取り組む。	労働衛生委員会	校長 教頭 教務
教育活動	●学力の向上	基礎学力の定着と活用力の向上のための指導方法の改善	・12月の学習状況調査で、4月調査の達成率を上回る。	・ぐんぐんタイムに級外職員も入り、国語と算数の基礎学力向上を図る。 ・学習状況調査結果を分析し、本校児童の課題に応じた指導法の改善を図る。 ・育友会と連携し、家庭教育週間の取り組みをもとに家庭学習の充実を図る。	研究推進委員会	教頭 教務
② 人権が尊重される集団づくりを図る。						
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌 (部)	担当者
教育活動	○自主的・実践的な態度の育成	学級活動と児童会活動の充実 異学年交流活動の推進	・学校での生活がより豊かな集団生活となるように、集団活動の充実を図る。	・集会活動や縦割り班活動などでの感想交流や振り返りカードで、自分や友だちの良さを見つけさせ、活動意欲を高める。 ・縦割り班で、上級生がリーダーシップを発揮できる清掃活動や共遊活動を実施する。	仲間づくり	野口 古賀
学校運営	○地域、保護者との連携による体験活動の充実	晴田地区青少年健全育成会議、育友会との連携強化	・土曜教室参加児童を増やし、異学年や地域の方との交流を図る。 ・保護者や青少健の方々との連携した学習活動を実施する。	・学校便りや育友会カレンダー等に青少健や育友会活動を位置づけ、子どもの参加意識を高める。 ・教職員も育友会活動、青少健活動に年2回は参加し、保護者や地域の方々との相互理解を図る。	開かれた学校づくり	教頭
③ 自己肯定感を高める取り組みを充実させる。						
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌 (部)	担当者
教育活動	●心の教育	人権教育、道徳教育の充実	・人権教室や人権集会後のアンケートで、人権意識が高まったとする児童の割合を80%以上とする。 ・深く考え議論する道徳の授業が効果的に実践できる全体計画、年間指導計画を作成する。	・年3回の人権学習への保護者や地域の方への参加を呼びかけ、学校での取り組みを知っていただくと共に、家庭や地域と連携した取り組みを進める。 ・人権学習や道徳の授業で、書く活動や話し合う活動で深く考えさせたり、多様な考えに気づかせたりする。	自分づくり	川橋 大坪
教育活動	●いじめの問題への対応	生徒指導・教育相談の充実	・子ども一人ひとりに寄り添い、いじめの未然防止、早期発見・早期解消に努め、学校がいじめ防止対策への保護者の満足度を90%以上とする。	・毎月のアンケート、年2回の教育相談週間で一人ひとりの子どもをしっかりと把握し、問題には即時対応する。 ・ケース会議の内容を全職員で共有し、学校全体で継続した取り組みを行う。	いじめ防止対策委員会	熊谷 川橋 陣内
学校運営	○特別支援教育の充実	特別支援教育体制の確立	・昨年度作成した晴田スタンダードをもとに全職員が連携して取り組む。 ・特別な支援が必要な子どもを早期発見し、組織的な支援を行う。	・晴田小スタンダードを共通理解して、全職員で取り組む。 ・特別支援教育の研修会を通して、職員の理解を深め、外部専門機関の助言をもとに全職員で共通理解を図って支援する。	教育支援委員会	石井 川副 竹田 森田
本年度の重点目標に含まれない共通評価項目(あれば記入)						
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌 (部)	担当者
教育活動	●健康・体づくり	望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	・朝食喫食率を95%以上にする。	・年2回の晴田っ子アンケートで把握した朝食喫食率をもとに、学級指導や家庭科等で食の大切さを考えさせる。 ・1年生保護者を対象とした給食試食会、保健便りや学校便り等で食の大切さへの保護者の理解を深める。	仲間づくり	高橋

●は共通評価項目のうち必須項目、○は独自評価項目